

東北文化学園大学履修規程

「平成 11 年 3 月 10 日」
「制 定」

(趣旨)

第 1 条 この規程は、東北文化学園大学学則（以下「学則」という。）第 26 条第 2 項の規定に基づき、東北文化学園大学（以下「本学」という。）の授業科目の履修方法その他の必要な事項について定めるものとする。

(教育課程の編成)

第 2 条 本学の教育課程は、次の各号に掲げる授業科目をもって編成する。

- (1) 基礎科目
- (2) 専門基礎科目（医療福祉学部リハビリテーション学科・医療福祉学部看護学科・総合政策学部・科学技術学部）
- (3) 専門科目（医療福祉学部・総合政策学部・科学技術学部）
- (4) 選択必修科目（医療福祉学部リハビリテーション学科言語聴覚学専攻）
- (5) 研修科目（科学技術学部）
- (6) 統合科目（医療福祉学部看護学科）

(授業科目)

第 3 条 本学において開設する授業科目の種類、配当年次及び単位数（必修、選択及び自由）は、学則別表第 1 のとおりとする。

2 授業科目の授業内容等は、学年の初めに、授業概要（シラバス）を学生に配付し、周知する。

(単位の計算)

第 4 条 授業科目の単位の計算は、次のとおりとする。

- (1) 講義は、15 時間をもって 1 単位とする。
- (2) 演習は、30 時間をもって 1 単位とする。
- (3) 実験、実習及び実技は、45 時間をもって 1 単位とする。

(履修方法)

第 5 条 学生は、所属する学部学科（専攻）に応じて、基礎科目、専門基礎科目、専門科目、選択必修科目、研修科目及び統合科目から、次により単位を修得しなければならない。

- (1) 医療福祉学部

区 分	リハビリテーション学科							
	理学療法学専攻		作業療法学専攻		言語聴覚学専攻		視覚機能学専攻	
	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目
基礎科目	9 単位	13 単位以上	9 単位	11 単位以上	11 単位	8 単位以上	12 単位	13 単位以上
専門基礎科目	35 単位	—	37 単位	—	37 単位	—	36 単位	2 単位以上
専門科目	68 単位	4 単位以上	64 単位	4 単位以上	64 単位	—	61 単位	—
選択必修科目	—	—	—	—	—	8 単位以上	—	—
計	129 単位以上		125 単位以上		128 単位以上		124 単位以上	

区 分	看護学科	
	必修科目	選択科目
基礎科目	8 単位	12 単位以上
専門基礎科目	35 単位	—
専門科目	51 単位	—
統合科目	18 単位	—
計	124 単位以上	

区 分	保健福祉学科			
	保健福祉専攻		生活福祉専攻	
	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目
基礎科目	9 単位	20 単位以上	9 単位	20 単位以上
専門科目	10 単位	85 単位以上	96 単位	7 単位以上
計	124 単位以上		132 単位以上	

※ 保健福祉専攻において、精神保健福祉士国家試験受験資格取得に係る実習、演習科目の授業時間（単位の計算）は第 4 条の定めによるものとする。また、履修方法等は第 5 条及び第 6 条の定めによるものとする。

※ 生活福祉専攻において、介護福祉士資格取得の授業科目は、指定規則に掲げる各授業科目の出席時間数が指定規則に定める時間数の 3 分の 2（ただし、介護実習については 5 分の 4）に満たない者については、履修を認定しない。

- (2) 総合政策学部

区 分	総合政策学科		
	必修科目	選択科目	
		区分別要件	区分問わず
基礎科目	8 単位	16 単位以上	※左記に加えて 20 単位以上
専門基礎科目	14 単位	18 単位以上	
専門科目	8 単位	40 単位以上	
小 計	30 単位	94 単位以上	
計	124 単位以上		

※ 基礎科目、専門基礎科目及び専門科目から、区分毎に定められた最低単位以上を修得した上で、残りは区分に関係なく 20 単位以上を修得しなければならない。

- (3) 科学技術学部

区 分	知能情報システム学科		建築環境学科		臨床工学科		
	必修科目	選択科目		必修科目	選択科目		
		区分別要件	区分問わず		区分別要件	区分問わず	必修科目
基礎科目	6 単位	22 単位以上	—	17 単位以上	10 単位	13 単位以上	
専門基礎科目	13 単位	30 単位以上	※ 1 左記に加えて 6 単位以上	50 単位	※ 2 左記に加えて 14 単位以上	45 単位	3 単位以上
専門科目	—	30 単位以上		12 単位		12 単位以上	39 単位
研修科目	11 単位	6 単位以上	20 単位	—	4 単位	—	
計	124 単位以上		125 単位以上		127 単位以上		

※ 1 基礎科目、専門基礎科目及び専門科目から、区分毎に定められた最低単位以上を修得した上で、残りは区分に関係なく 16 単位以上を修得しなければならない。

VI 諸規程

- ※ 2 基礎科目、専門基礎科目及び専門科目から、区分毎に定められた最低単位以上を修得した上で、残りは区分に関係なく 14 単位以上を修得しなければならない。
- 2 学生は、原則として所属学年に配当されている授業科目を履修しなければならない。ただし、学生の履修単位の内容等を考慮して、特に必要があると認めた場合は、この限りではない。
- 3 授業科目のうち、選択科目の履修方法は、学則別表第 1 の備考欄に掲げるとおりとする。
(履修登録単位数の上限)
- 第 5 条の 2 学生が 1 年間に履修登録できる単位数の上限を定める。履修登録できる単位数の上限は、各学部で別に定める。
(履修手続)
- 第 6 条 学生は、毎学年又は毎学期の初めに、履修を希望する授業科目について、履修届を学部長に届け出て、承認を得なければならない。
- 2 学生は、前項の履修届提出後、指定の期日以外に履修届の内容を変更することはできない。
- 3 学部長が特に必要と認めた卒業研究等の授業科目の履修手続については、別に定める。
(履修の禁止)
- 第 7 条 次に掲げる授業科目は、履修することができない。
- (1) 履修届を届け出していない授業科目
(2) 既に単位を修得した授業科目
(3) 授業時間が重複する授業科目
(履修の取消)
- 第 8 条 次の各号のいずれかに該当する者は、履修を取り消すことがある。
- (1) 授業料等の納付を怠り、督促してもなお納付しない者。ただし、延納又は分納の手続を行った場合は除く。
(2) 学期の途中で退学、又は除籍された者。
(成績の評価)
- 第 9 条 履修した授業科目の成績の評価は、次のとおりとする。
- (1) 講義による授業科目については、試験（定期試験、小テストを含む）、レポート等により行う。また、授業科目によっては出席状況などの平常点を含み評価することができる。
(2) 演習、実験、実習及び実技の授業科目については、出席状況、実技試験等、平常の学業成績により行う。
- 2 成績の評価は、S、A、B、C 及び D の 5 種とする。S、A、B 及び C を合格とし、D を不合格とする。
- 3 成績の評価の結果、合格と認定された授業科目については、所定の単位を与える。
- 4 第 6 条第 3 項の手続きを経て履修した授業科目については、別に定める「卒業研究等に係る履修手続き及び成績評価に関する申合せ」において行う。

- 5 前各項に定める成績の評価に対応した評価点(グレード・ポイント。以下「GP」という。)を設定し、不合格の授業科目を含めて、履修科目の GP の平均値(グレード・ポイント・アベレージ。以下「GPA」という。)を算出する。

評価	GP	100 点満点による区分
S	4	90 点以上
A	3	80 点以上 90 点未満
B	2	70 点以上 80 点未満
C	1	60 点以上 70 点未満
D	0	60 点未満

- 6 その他、GPA に関する事項は、別に定める。
(履修の放棄)
- 第 9 条の 2 次のいずれかに該当する者は、当該科目の履修を放棄したものとす。
- (1) 定期試験受験を放棄した者
(2) 成績評価に係る課題等を提出しなかった者
(3) 定期試験受験資格が認められなかった者
(成績不振学生に対する修学指導)
- 第 9 条の 3 成績不振学生には修学指導を行うことし、修学指導に関し必要な事項は、別に定める。
(他学部の授業科目の履修)
- 第 10 条 学生は、所属する学部以外の学部が開設する授業科目を履修することができる。
- 2 前項の規定により授業科目を履修しようとする者は、他学部履修願を学部長に願い出て、その許可を受けなければならない。
(他の大学又は短期大学における授業科目の履修)
- 第 11 条 学生は、他の大学又は短期大学における授業科目を履修することができる。
- 2 前項の規定により授業科目を履修しようとする者は、他大学等履修願を学部長に願い出て、その許可を受けなければならない。
(大学以外の教育施設等における学修)
- 第 12 条 学生は、短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修をすることができる。
- 2 前項の規定により学修しようとする者は、教育施設等学修願を学部長に願い出て、その許可を受けなければならない。
(雑則)
- 第 13 条 この規程に定めるもののほか、履修に関し必要な事項は、教授会及び大学運営会議の議を経て、学長が別に定める。
- 附 則
この規程は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。
- 附 則
この規程は、平成 12 年 4 月 1 日から施行し、改正後の第 5 条第 1 項第 1 号の保健福祉学科の項の規定は、平成 12 年度の入学者から適用する。
- 附 則
1 この規程は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

2 平成 14 年度以前に入学した者については、改正後の第 2 条及び第 5 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成 16 年 3 月 3 日から施行し、平成 15 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この規程は、平成 16 年 10 月 6 日から施行し、平成 16 年 10 月 1 日から適用する。

附 則

1 この規程は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。
2 平成 16 年度以前に入学した者については、改正後の第 5 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

1 この規程は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
2 平成 17 年度以前に入学した者については、改正後の第 5 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成 18 年 12 月 6 日から施行し、平成 18 年 10 月 1 日から適用する。

附 則

この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
2 平成 21 年度以前に医療福祉学部保健福祉学科精神保健福祉専攻に入学した者については、改正後の第 5 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

1 この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
2 平成 23 年度以前に医療福祉学部保健福祉学科精神保健福祉専攻に入学した者については、改正後の第 5 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

1 この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
2 改正後の第 9 条第 2 項の規定については、平成 25 年度の入学者から適用する。ただし、平成 24 年度以前に入学した者については、改正後の第 9 条第 2 項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

1 この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
2 平成 25 年度以前に入学した者については、改正後の第 5 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
3 改正後の第 5 条の 2、第 9 条第 5 項及び第 6 項

の規定については、平成 26 年度の入学者から適用する。

附 則

1 この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
2 平成 27 年度以前に科学技術学部知能情報システム学科及び建築環境学科に入学した者については、改正後の第 5 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
3 改正後の第 9 条の 3 の規定については、平成 28 年 1 月 7 日から施行する。

東北文化学園大学における成績評価平均値（GPA）に関する細則

「平成 26 年 3 月 5 日」

「大学運営会議制定」

（趣旨）

第 1 条 この細則は、東北文化学園大学履修規程第 5 条第 6 項に基づき、成績評価平均値（グレード・ポイント・アベレージ。以下「GPA」という。）の取扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第 2 条 この細則において GPA とは、授業科目の成績の評価 5 段階（S、A、B、C、D）に対応した評価点（グレードポイント。以下「GP」という。）を付与して算出する 1 単位あたりの成績評価平均値をいう。

（対象科目）

第 3 条 GPA の対象科目は次のとおりとする。

- (1) 卒業要件に係わる科目。
- (2) 他学部履修、単位互換により履修した科目で卒業要件に係わる科目。
- (3) 転学部等により単位認定された科目は、GPA 対象外科目とする。ただし、転学部等以降に修得した科目は GPA 対象科目とする。
- (4) 単位認定科目「認」で評価された科目は GPA の対象科目から除外する。

（配点）

第 4 条 評価された成績は段階ごとに、次に掲げる GP を配点する。

評価 (100 点満点による区分)	合否基準	GP
S (90 ~ 100)	合格	4
A (80 ~ 89)		3
B (70 ~ 79)		2
C (60 ~ 69)		1
D (0 ~ 59)	不合格	0

（GPA の種類及び計算方法）

第 5 条 GPA は、次の各号に区分し、当該各号に定める方法により計算する。この場合において、計算値は、小数点以下第 2 位を四捨五入して表記